

# みなみちた 議会だより

第 133号

平成22年11月1日



町コミュニティバス出発式（9月30日）

## ◇9月定例議会

- 16議案を認定・可決…………… 2ページ
- 平成21年度決算を認定・委員会スポット … 3
- 町の考えは・一般質問9氏…………… 5

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18

発行 / 南知多町議会 ☎ 65-0711

編集 / 議会広報特別委員会 FAX 65-0694

# 9月定例会

## 議案の審議結果

(議長は賛否に含まない。欠席1)

\*\*\*\*\*  
9月定例会は、9月8日に開会、十五日間の会期を経て、町長提案の十五議案を認定、可決しました。  
また、請願一件を採択、意見書等(議員提案)一件を可決して9月22日に閉会しました。  
その概要をお知らせします。  
\*\*\*\*\*

### 決算関係議案

- 平成21年度一般会計決算認定 (賛成9 反対1)
- 平成21年度国民健康保険特別会計決算認定 (賛成9 反対1)
- 平成21年度老人保健特別会計決算認定 (全員賛成)
- 平成21年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (賛成9 反対1)
- 平成21年度介護保険特別会計決算認定 (全員賛成)
- 平成21年度漁業集落排水事業特別会計決算認定 (全員賛成)
- 平成21年度師崎港駐車場事業特別会計決算認定 (全員賛成)
- 平成21年度水道事業会計決算認定 (全員賛成)

### 予算関係議案

- 平成22年度一般会計補正予算(第二号)  
(補正の主なもの)
  - ・ 橋りょう改築事業調査設計業務委託料 一千万円
  - ・ 国民健康保険特別会計繰出金 六九二万円
  - ・ 海岸漂着物地域対策推進事業委託料 四九一萬六千円
  - ・ 離島可燃ごみ収集運搬委託料 九八万四千円  
(フェリー運休対応)
- 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第一号)  
(補正の主なもの)
  - ・ 国民健康保険システム修正業務委託料 六九二万円
- 平成22年度老人保健特別会計補正予算(第一号) (全員賛成)

### 条例関係議案

- 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号) (全員賛成)
- 平成22年度介護保険特別会計補正予算(第一号) (全員賛成)
- 南知多町消防団員等公務災害補償条例の一部改正  
・ 児童手当法の改正に伴う父子家庭の受給調整を行うもの (全員賛成)

### その他の議案

- 人権擁護委員の推薦 (全員賛成)

### 請願

- 三十人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願 (全員賛成)

### 意見書(議員提案)

- 三十人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 (全員賛成)



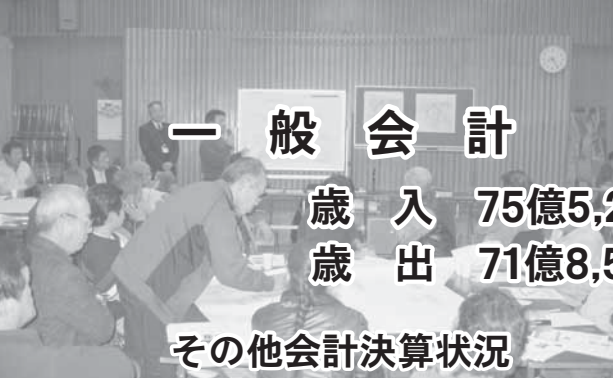
# 平成21年度 決算を認定

…… 重点施策 ……

地域公共交通  
子育て支援

地震防災対策  
公共施設整備

地域公共交通 タウンミーティング



## 一般会計

歳入 75億5,284万円 (前年度比8.6%増加)

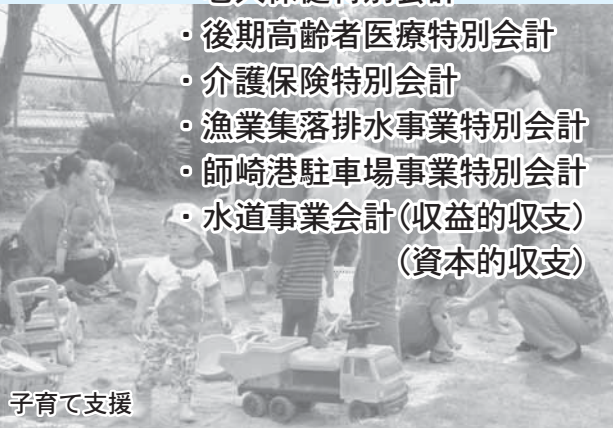
歳出 71億8,543万円 (前年度比7.8%増加)

### その他会計決算状況

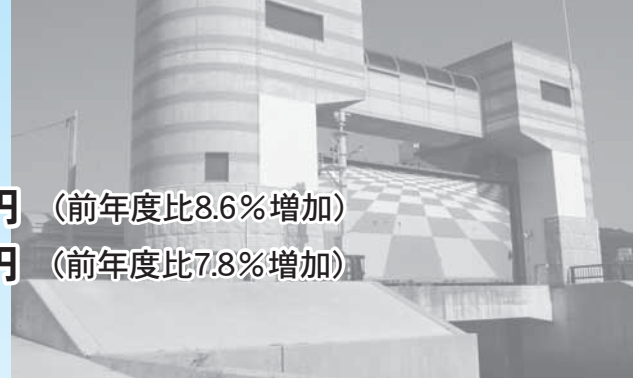
- ・国民健康保険特別会計
- ・老人保健特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・漁業集落排水事業特別会計
- ・師崎港駐車場事業特別会計
- ・水道事業会計(収益的収支)
- (資本的収支)

|    |            |    |            |
|----|------------|----|------------|
| 歳入 | 28億8,826万円 | 歳出 | 26億5,023万円 |
| 歳入 | 2,018万円    | 歳出 | 1,494万円    |
| 歳入 | 2億 572万円   | 歳出 | 2億 390万円   |
| 歳入 | 14億1,559万円 | 歳出 | 13億9,048万円 |
| 歳入 | 8,419万円    | 歳出 | 7,844万円    |
| 歳入 | 1億4,933万円  | 歳出 | 1億3,518万円  |
| 収入 | 7億4,688万円  | 支出 | 6億9,456万円  |
| 収入 | 7,887万円    | 支出 | 3億8,778万円  |

子育て支援



山海川樋門 (津波情報伝達システム)



学校耐震補強工事 (師崎小学校)



# 質問箱ポータル

▽建設厚生委員会△ 9月13日

### 決算関係(一般会計)

**問** 児童虐待の防止対策や早期発見は、どのような連携をとって行っているか。

**答** 児童虐待については、情報は共有し、その対策を早急に実施することが必要であり、知多福祉相談センター、半田保健所、町の主任児童委員、保健介護課、学校教育課、福祉課等の関係機関が集まり児童虐待実務者会議を開催している。

**問** 水田農業構造改革対策事業費の事業内容は何か。

**答** 平成22年度から始めた戸別所得補償制度モデル対策の趣旨内容を農家へ周知するための、パンフレット等の郵送料五万二千円と会議などの出張旅費七千三四円である。

**問** 子ども医療給付費金以外の費用は町の負担となるのか。

**答** 就学前児の入通院助成費及び小中学生の入院助成費は、県の補助事業として県、町がそれぞれ二分の一を負担し、小学生の通院分は町単独事業として町が負担

**問** 師崎港観光センターに設置する多目的便所の位置について、問題はないか。

**答** 名鉄海上観光船や浄化槽の管理を委託している業者と協議して、位置を決めた。バス停側はバイク等の置き場の問題があり、また、名鉄海上観光船の事務所前には、船の運航が見にくくなることから建設位置から除外した。

している。

決算関係（一般会計）

**問** ペイオフについて町の対策はどうか。

**答** 指定金融機関では、全額保護される決済用普通預金と利付きの普通預金、借入金額との相殺分及び超過分について定期預金をしている。指定金融機関以外では、決済用普通預金及び借入金額と相殺される範囲内の定期預金をしており、安全な保管運用に努めている。

**問** 21年度においても内田佐七家の整備がされているが、今後の整備計画はどうか。

**答** 味噌部屋や薪小屋などの補修が必要であり、今後も、順次整備したい。また、今年度寄贈された内田佐七家も内田佐七家とともに整備を進めたいと考えている。

**問**

給食センターの害虫駆除委託料が、前年度と比較して増額になっているが、その理由は何か。

**答** 平成20年度に害虫による異物混入事故が発生したため、21年度より、年間3回であった総合防除を6回に、定期点検も年間3回を6回に倍増させて害虫駆除対策を強化したためである。

**問**

購入する給食センター備品は、単年度に使用するだけのものなのか、今後も使用できるものなのか。

**答** おかず用の保温・保冷のできる容器であり、単年度だけでなく今後も使用できるものである。

予算関係  
（一般会計補正予算）

海底管布設替工事視察

9月16日



（師崎－日間賀島間 南ルート）  
口径150<sup>mm</sup> 海底管  
（鋼帯がい装ポリエチレン管）  
布設延長 2,041<sup>m</sup>



一

般

質

問

- 1番 榎戸陵友議員 (1) 南知多町制50周年について  
(2) 観光地としての課題を問う
- 2番 相川成三議員 (1) 地域公共交通への期待
- 3番 吉原一治議員 (1) かるも保育所付近の道路改修工事について  
(2) 結婚支援事業の推進について
- 4番 鳥居恵子議員 (1) 羽豆岬展望台の整備を  
(2) ジェネリック医薬品の普及を
- 5番 松本 保議員 (1) 高齢者福祉対策における介護老人施設の位置づけについて
- 6番 鈴川和彦議員 (1) 消防及び地域医療について
- 7番 石黒和彦議員 (1) 議員活動の一年点検をします  
(2) 南知多町、公共交通の目指すべき姿を問う
- 8番 榎本芳三議員 (1) 離島の漏水について（水道事業）  
(2) 沢田町政2期8年について  
(3) 県所有地の賃貸料について
- 9番 山下節子議員 (1) こども医療費無料化制度の拡充を求めます  
(2) 予防接種への助成促進を  
(3) 18歳未満の国保税の負担軽減を  
(4) 配食サービスの改善を求めます



# 南知多町制50周年について



榎戸陵友議員

**問**

来年は、昭和36年6月の内海町、豊浜町、師崎町、篠島村及び日間賀島村の五カ町村の合併により、南知多町が誕生して以来五十年という節目の年を迎える。記念すべき町制五十周年の年である。

町当局は、様々な行事を計画していると思うが、お聞かせ願いたい。

**答**

鳥居総務部長

町制五十周年の記念行事については、記念式典を始め、NHKの公開番組、記念講演などの計画を、現在、関係機関と調整しているところである。

また、県の植樹祭、そして、産業まつり推進事業などを始め、観光関連の各種イベント、スポーツ大会や文化関連の行事、福祉関係の講演会などの案がある。

**問**

次世代を担う子どもたちに、町制五十周年記念事業として町議会の役割や行政の仕組みを知ってもらい、まちづくりへの関心や社会の一員としての意識を深め、政治を身近に感じてもらうことを目的として、「子ども議会」を開催することを提言するがいかがか。

**答**

行政や議会の仕組みを学び、町政への関心を高めるため、記念事業の一環として、子どもたちが参加する模擬議会を開催したいと考えている。

**問**

観光地としての課題を問う

今年、知多半島五市五町による複数の観光地が連携して二泊三日以上の滞在型観光を目指す観光圏の形成が、国より「知多半島観光圏」として認定された。今後、観光は、重要なひとつの産業として期待されている。本町においては、観光振興を重点施策として、

税収入の拡大、雇用の拡大、景気の拡大等勘案し、町の発展に取り組んでいかなければならない。

観光振興は、県内でも有数の観光地の多いわが町の産業振興の要でもある。各地区の住民と町との協働と連携が不可欠である。そのためには、各地区の重点的拠点として「観光案内所」が必要である。それを基点として地域の観光の情報発信の基地、収集の場、具体的な活動の場として活用できる。すでに各地区には、設置されている地区もある。

が、ない地区もある。現在ない師崎地区（大井聖崎周辺）、豊浜地区に早急に設置し、各地区が積極的に観光振興を実行できる体制づくり拠点として「観光案内所」の早期建設設置を望むものである。町当局は、いかがお考えか。

**答**

石黒建設経済部長  
町観光協会支部単位での案内所の設置は考えていない。

**問**

近年観光地のゴミ問題が深刻化して



▲片名漁港周辺のゴミ

いる。せっかく素晴らしい景観であっても、あたりにゴミが散乱しては幻滅してしまう。そこで、町民はもとより、旅行者、滞在者をも対象に、町内の公共の場所や観光地で、空き缶や紙くず、ガムなどの投げ捨て、たんやつばの吐き捨て、落書きを禁止する「ポイ捨て禁止条例」を制定してはどうかか。

**答**

石垣厚生部長

町に苦情として寄せられる観光客のゴミ、愛玩動物の糞の持ち帰りや、雑草が生い茂り火災や害虫の発生が心配される土地の適正管理など諸問題も含め、本町の素晴らしい景観の保護を図るとともに、町民の快適で良好な生活環境の保全に努め、所有者や管理者等を始めとして、町や事業者等の責務を明確にしていく。

そうした施策の推進を図るためにも、今後、ポイ捨て禁止を含めた総合的な対策を研究していきたいと考えている。

# 地域公共交通への期待



相川成三議員

**問**

はじめに、交通不便地の本町において、バス問題はもっと早くから取り組むべきであった。全ての事務が期限内に追われて、見切り発車の感が否めない。微調整で大きな欠陥が補えるのに、誠に残念であった。内海―豊浜間の西海岸線は、豊浜でカットされた。住民に説明し、理解を得た上か。

**答**

鳥居総務部長  
法定協議会、議会特別委員会で十分検討していたで決定した。また、タウンミーティング、パブリックコメントを重ね、町広報により住民への周知にも努めてきた。

**問**

ある日突然、印刷された計画案が配布されたが、期限に追われる雰囲気、タウンミーティングの会場も遠く

て健常者しか参加できない所で行われた。例えば西海岸線を豊浜で乗り継ぎ師崎へ行くとして、その待ち時間は何か。

**答**

運輸局へ申請中の仮ダイヤによると四十一分から六十三分の待ち時間となる。

**問**

町長は、大井から矢梨経由で役場へ通勤するとして、帰りは連絡が悪いので通えないと言った。その待ち時間はたった二十七分である。一時間おきの連絡で、四十一分から六十三分もの待ち時間では、路線が繋がっているとは言えない。便利が良くなった地域があるのに、不便になった地域があるのは許せない。

**答**

そこで、法定協議会とは別にバス利用者だけの、あるいはバス利用者が過半数を占める協議会を設置したらどうか。

**答**

バス利用者協議会の設置については、議会特別委員会で改めて

ご検討願いたいと考えている。

**問**

実証運行一カ月の間に、町長始め全職員が、週に一回でいい、バス通勤を実施して問題点の発掘をしてほしいと考えるがどうか。

**答**

バス通勤の可能な職員には体験をしていただき、利用結果の意見等を集約していきたいと思っている。

**問**

コスト分担による医療機関始め恩恵を受ける個人企業等から賛助金とか貰う考えはないか。



▲実証運行の始まった町コミュニティバス

**答**

車内広告やバス停留所の案内放送等での広告収入の確保、また、企業からの新設バス停留所要望についても検討していきたいと考えている。

**問**

バス乗客を増やす工夫をどのようにするか。

**答**

当面、ルート・ダイヤ・料金などの町民へのPRに努め、また、公共交通情報の提供を軸に利用促進を図り、地域のまちづくりと連携してバス利用促進のためのイベント等の実施、地域で支える仕組みのたための勉強会の開催などを実施する予定である。

**問**

豊浜魚ひろばのダイヤが時刻表から抜けている。豊浜のことをどう思っているのか。

**答**

仮ダイヤというところで落ちていました。誠に申し訳ありませんでした。

**問**

将来の問題として、本町は、大学はない、複数の高校も総合病院もない、勤め先もあまりなく都市的機能は三〇%程度だ。美浜町も含めて都市的機能は五〇%くらいだろう。ないないづくしのわが町が発展するために、他町も含めた広域的な交通網が必要と考えるが、町長の考えはどうか。

**答**

沢田町長  
アイデアもたくさんいただいているが、10月1日の実証運行も迫っている。実証運行の過程で出てきた問題点を法定協議会で検討していただき、改善すべき点は改善していきたいと思っています。



# かるも保育所付近の 道路改修工事について



吉原一治議員

## 問

かるも保育所付近の道路については、道路幅が狭く、車のすれ違いなどに苦慮しているため、早急に道路改修工事を行うよう、昨年の9月議会で質問した。この質問に対し、「当該道路は県道であるため愛知県に対し要望しており、愛知県は、21年度に測量調査を行い、22年度に工事を実施する方向で検討している」と答弁されたが、愛知県は昨年度測量調査を実施されたか。その結果、どのような計画となったか。また、今年度道

路改修工事を実施する予定はあるか。

## 答

石黒建設経済部長  
愛知県においては、昨年度予備設計を行った。退避所の必要な箇所、待避所を設置することが可能な箇所の選定を行った。その結果、まず最も通行に支障をきたしている所に待避所を設置するため「今年度工事詳細設計を行い、工事については来年度以降に着手する予定である」と聞いている。また、今後においても出来るだけ早く整備をしていただくよう要望している。

## 問

以前からこの道路については、狭いという問題があった。豊

浜地区の保育所が一方所に統合したことにより、車の送迎が増え、不慣れた状況になっている。町は、この現状を把握しているか。町としてどのような考えがあるか。

## 答

従来から狭い道路であるとの指摘がある。現状については、承知し把握している。町としても、待避所の確保を愛知県に対し、要望してきた。早く対処できるように今後においても愛知県に要望していく。

## 問

町がいかに要望するかによって、早く対応ができると聞いている。何回も愛知県に対し、要望していくことをお願いする。町長の意見をお願いする。

## 答

沢田町長  
愛知県に対し、ご理解を願ひ、機会をつくっては出向いている。今後においても、愛知県に対し、要望をしていく。

## 結婚支援事業の推進について

## 問

本町の人口増加や地場産業の後継者育成のため、結婚支援事業を積極的に取り組むよう今年の3月議会で質問した。この質問に対し、「愛知県では、市町村や団体が開催する結婚支援事業への助成を行うとしているので、漁協、農協、商工会等の各種団体に周知し、町としても県から助成を得て、この事業がスムーズに行われるように努める」と答弁されたが、各種団体に呼びかけ、結婚支援事業を推進したか。また、町主催による結婚支援事業を実施する考えはあるか。

## 問

今年8月に豊浜漁協青年部により婚活パーティーが開催されたが、町としてどのような対応をしたか。

## 答

鳥居総務部長  
町としては、主催者から町地域振興等支援事業補助金の申請があり、事業採択し、主催団体にに対し、補助額二〇万円の交付決定をした。

## 問

この事業を実施することにより、地場産業の後継者が育成され、人口増加に繋がることを期待する。今回の、豊浜漁協青年部の婚活パーティーにおいては、四組がうまくいっている。町長に前向きな答弁を求めたい。

## 答

石黒建設経済部長  
各種団体の関係者に対し、結婚支援事業の推進についてお願いをした。今後においても補助事業制度の周知と推進に努める。町主催の事業については、各種団体との調整を図り、新年度事業として取り組めるよう検討する。

## 答

沢田町長  
今後とも、地域活性化のため、地域振興等支援事業による助成をし、町として、バックアップしていく。



▲改修が待たれる かるも保育所付近の道路

# 羽豆岬展望台の整備を



鳥居恵子議員

**問** 羽豆岬と羽豆岬の展望台は、人気アイドルグループSK E48の最新シングルCDに曲名「羽豆岬」として売り出された。地元では、東海地方で一番に歌っていただいたという大変貴重なこの機会を起爆剤と考え、各種団体総出で清掃活動等を行っている。せっかく羽豆岬が歌になったのに、羽豆岬へ行くこととしたお客さんが、駐車場にうまく入れない現実をどう考えているのか。

**答** 石黒建設経済部長 師崎港駐車場は、ゴルフデンウイークと夏休み期間の土日及び盆期間中は満車となり、その状態を緩和するため、両島の観光協会が臨時駐車場を開設し、シャトルバスで師崎港観光センターまで観光客の送迎を行っている。その他の土日や祝日には、一時的に満車

となることもあるが、利用者への大きな影響はないものと考えている。

**問**

「羽豆岬の展望台海は大きくて私たちの未来みたい 羽豆岬の展望台 元氣もらえ 見る どんな夢もここから見つかる」とまで有名な作詞家により発表されたが、地元の長年の願いでもある展望台の修復をどう考えているのか。

**答**

羽豆岬にある師崎港展望台は、鉄骨・擬木造で、平成17年より老朽化のため使用禁止にしている。町の観光の重要施設として早急に改築を検討し、観光客の誘致に努めたいと思っている。

**問**

師崎港駐車場の現状と収支はどうか。

**答**

師崎港駐車場の21年度の収支は、歳入として定期及び一般駐



▲羽豆岬の展望台

車場の使用料など約一億四千九百三十九千円、歳出は駐車場の維持管理費及び地方債の償還金など約一億三千五百一十八万三千円、差し引き約一千四一四万六千円の黒字となっている。

**問**

師崎港観光センターは昭和50年築で、両島・伊良湖への重要な乗船場であり、町の玄関とも言え、このままではいけないという声も高いが、どう考えているのか。

**答**

師崎港観光センターは、平成18年に耐震診断により耐震性能を有していない建物と判断された。知多半島の海の玄関口であり耐震補強工事ができるよう検討していく。

**問**

師崎港観光センターの収入面はどうか。

**答**

名鉄海上観光船から家賃収入として八〇六万六千円、光熱水費として四四三万三千円をいただいている。

**問**

師崎港観光センターは収入を伴う施設であり、町の負担も少なくすむので、耐震補強ではなく建て替えを考えたかどうか。

**答**

現在の施設の中で安全性をまずは優先し、約二千二〇〇万円の費用で耐震補強を考えている。今後、使い勝手のいい施設とし利益を得られるよう十分協議していかなければならないと考えている。

**答**

石垣厚生部長

本年度が保険証の更新時期にあたるため、保険証発送用封筒表面に「ジェネリック医薬品を上手に活用しましょう」と記載して普及に努めた。今後も町広報での啓発と、愛知県国民健康保険団体組合連合会より提供されているデータの活用により、希望者には、ジェネリック医薬品を利用することでどれほどの負担軽減になるのかお知らせしたいと考えている。

**問**

その他の医療費削減対策はどうか。

**答**

特定健診の実施にクシンドロームの該当者を把握し、特定保健指導を行い生活習慣病の予防を支援していくことで、将来的な医療費の削減を狙うものである。

**問**

ジェネリック医薬品の普及を

国は少しでも医療費を抑えようとジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及を進めている。後発医薬品は、価格も三割から五割以上安くなる場合があり、支払いが抑えられ家計は大助



# 高齢者福祉対策における 介護老人施設の位置づけについて



松本 保議員

## 問

本町でも核家族化により高齢者のみの世帯が増え、必然的に特別養護老人ホームへの希望者、対象者が拡大すると思われる。町の特別養護老人ホームに対する考え方として、施設入居待機者の希望、早期入居を実現するため、社会福祉法人が施設を建設するにあたり、町の支援する対象事業は何かがあるか。

## 答

石垣厚生部長  
本年3月に制定した町特別養護老人ホーム整備事業補助金交付要綱の規定による特別養護老人ホームの整備が対象である。

## 問

本町にある二つの特養施設の設置にあたり、町から土地が無償貸与され、それぞれ運営されているが、無償貸与契約されている町有地の面積はどれだけあるか。

また、貸与面積の基準はあるのか。入居定員によるものであれば、詳細を示されたい。

## 答

現在、社会福祉法人南知多「特別養護老人ホームあい寿の丘」に対して一万五千七〇〇平方メートル、社会福祉法人あぐりす実の会「特別養護老人ホーム大地の丘」に対して一万三千三〇三・四二平方メートルを貸与している。なお、貸与面積は、特に基準はない。

## 問

町の財政が厳しいという言葉でひとくくりにするのではなく、町民の困っている状況を把握し、将来を見据えるべきではないか。今後の特養ホームの定員を増加するため、町はどのような対応をしていくつもりか。

## 答

本町の二つの特別養護老人ホームへの入所希望者は、あい寿の丘一一人、大地の丘九八人と多数の方々が待機されている。介護保険

事業は、三年ごとに計画の策定が義務付けられており、現在は第四期計画に基づき、それぞれの地域の介護保険料や施設サービスが設定されている。大地の丘は昨年度二〇床増築され、本年五月から本町住民も入所した。現在も入所待機者が数多くおり、施設不足の現状から、第五期計画でも、介護老人福祉施設の二九床の増床を予定している。

## 問

平成17年に開所した大地の丘の土地は、福祉の観点から町として施設が必要との認識があったのであれば、町として別途買収すべきであったと思うがどうか。

## 答

特別養護老人ホームの適地として、県から無償譲渡された町有地である内海字奥鈴ヶ谷七〇番五及び七〇番七九の二筆、一万三千三〇三・四二平方メートルを大地の丘に無償貸与したものであり、特段、別途買収し、土地を確保する必要がなかったと考えている。

## 問

特養ホームの無償貸与契約はすでに議会で承認されているが、法人の安定経営のため、法人からの申し出により、農業試験場用地の契約のように条件付き無償譲渡としても、町としては何ら問題はないと思う。その

## 答

鳥居総務部長  
社会福祉法人は、

のように進める考えはないか。

社会福祉事業という公益性の高い事業を安定的・継続的に経営していくことを求められるために、法人の設立、運営及び監督などが厳格に規定されている。町としても特別養護老人ホーム大地の丘の必要性、重要性を十分認識しており、平成17年において南知多農業協同組合の所有する大地の丘の土地と、愛知県より町に譲渡を受けた農業試験場の跡地を同面積で交換し、同年8月に経営母体である社会福祉法人あぐりす実の会と土地使用借契約を締結して、無償で貸付をしている。法人の安定経営のために条件付きの無償譲渡は、町として現在考えていない。町内の他の社会福祉法人との関係もあり、町有地としての適切な管理を継続するために、現在の無償貸付を続けていきたいと考えている。



▲特別養護老人ホーム 大地の丘

# 消防及び地域医療について



鈴木和彦議員

**問**

第六次町総合計画  
基本構想で消防・

防災の施策の方向として、災害被害を最小限に抑えるため町民の防災意識の高揚を図りながら、町関係団体、住民が連携した消防・防災体制の充実に努めるとされている。具体的には、どのように充実させ、また、消防団の位置づけをどう考えているのか。

**答**

鳥居総務部長

町の消防体制は、知多南部消防署と消防団の緊密な連携のもとに、火災及び災害などへの迅速な対応に努めている。その中で消防団員の確保、消防水利などの整備に努めることとしている。

消防団の位置づけは、火災時の初期消火および水利の指示、消防署のポンプ車誘導、タンク車への補水、道路上の交通整理などの業務を、また、

風水害時は、町災害対策本部との連携のもとに、被災者の救助・救援に従事していただいている。消防団は、町民の安心・安全確保のため、なくてはならない存在となっている。

**問**

両島の消防体制については、どのように考えているか。

**答**

非常備消防である地元消防団を中心に、それを知多南部消防署が支援する体制である。通常の火災・救助・救急などは、消防署の消火隊・救助隊・救急隊が直ちに出場できる体制がとられている。大火災時の通報



▲消防第十二分団詰所（日間賀島）

**問**

地域医療は、各地で医師不足、経営困難等の問題が起きている。そこで、知多半島各市町の救急医療体制及び市民病院等の受入状況、また、経営状況はどうか。

体制として、師崎地区分団、両島分団の応援体制が定められている。更に、篠島、日間賀島と一色町、佐久島の三島消防応援通報体制を一色町と協定を結んでいる。また、両島での大規模火災時における島フェリーによる消防車輸送について、名鉄海上観光船と協議を進めている。いずれにしても、地元消防団に頼るところが大である。

**答**

知多半島各市町の市民病院等の救急受入状況は、平成21年中の各消防本部からの搬送件数で、東海市民病院五十七件（搬送人員に対する割合一八・〇％）、知多市民病院一千四二五件（六八・六％）、常滑市民病院一千五六四件（八〇・九％）、半田市立半田病院五千二三三件（七二・三％）である。

**答**

石垣厚生部長

知多半島市町の救急医療体制は、第一次救急医療体制として、軽症者及び第二次救急医療への選別医療で、休日の昼間診療は在宅当番医制で対応している。

第二次救急医療体制は、入院又は緊急手術を要する重症者に対応し、九病院が病院群輪番制により救急患者を受入れている。第三次救急医療体制としては、第二次救急医療では対応できない重篤な患者への対応をするもので、市立半田病院が17年2月に救命救急センターの指定を受け、二四時間体制で診療している。

**問**

知多厚生病院への本町からの救急搬送、入院患者の受入れ状況はどうか。また、地域医療における知多厚生病院の役割及び位置づけをどのように考えているのか。

**答**

鳥居総務部長

平成21年中の知多厚生病院への救急搬送件数は、知多南部消防本部からの搬送件数が一千七十二件で、そのうち本町からの搬送件数は八七三件である。

**答**

石垣厚生部長

本町からの20年度入院患者数は、実人員で一千三九三人である。知多厚生病院は、地域医療になくはない存在であると考えている。また、地域の中核病院としての施設整備は、本町としても可能な限りの財政援助を行うものである。



# 議員活動の1年点検をします



石黒和彦議員

**問** 行政サービス改善要求に対する結果の報告を求める。

**答** 鳥居総務部長

本年2月に職員の間接研修をし、お客様の気持ちでの対応、マナー向上、上手な話し方聞き方を学び実践に努めている。

**問** 防災等の対応を始め様々な事に手引書が有効と提案した。昨年の台風18号の教訓を活かし、どの様に今年の台風に備えているのか。

**答** 災害時の対応として、建設課・総務課・環境課でマニュアルを作り本年度の区長全体会にて配布し、説明をした。

**問** 昨年、海底管の漏水事故があり、平成21年度で水の原価で八

八〇万円分もの水が海に流され、損害が発生した。この経験を活かした手引書の作成を進言する。作る場合、異常漏水と判断する漏水量基準と、今回原因判明から応急処理まで六カ月を要した期間、今後どの位の期間で対応できると判断したか。

**答** 石黒建設経済部長

本年4月に将来の災害や事故に迅速に対応するため、水道危機管理対策マニュアルを作り、海底管では一時間五立方メートルの漏水で調査を開始し、応急工事を完了まで一カ月と判断をしている。

## 南知多町の公共交通が目指すべき姿を問う

**問** 実証運行一年目の乗車目標人数と、初期投資額を除く運行経費の金額、役場職員三二

二名が通勤で利用する想定人数は。

**答** 鳥居総務部長

町内全四路線で二四万人。運行経費は四千百万円。個々の職員の通勤状況を考慮しない場合、一一九人の利用が想定される。

**問** 教育委員会が提案した山海小学校の一部を郷土資料館とする計画は頓挫し、町民への信義が一部果たされていない。町は新たな提案をする意思はあるか。

**答** 澤田教育部長

現在、新たな提案はない。今後も有効活用の方角を検討したい。



▲旧山海小学校の校舎

**問** 私は、南知多町の公共交通は、町民の移動、高齢化社会に対応する交通弱者の移動、観光振興のための観光客の移動、以上、三者の移動手段の確保が、公共交通の計画に必要不可欠な要素だと考える。今回、民の廃止路線を町が運営する事となり、

**答** 澤田町長

国の補助が五〇％から一五％になっても町民の移動手段の確保を最優先として運行を開始するが、他の要素の議論が不足し、本町の公共交通の目指すべき姿が具体的に見えてこない。町長は平成20年度までにNPOによる老人の送り迎えの支援を実施すると約束しているがどうか。

**答** 石黒建設経済部長

観光に連携した地図や時刻表等の情報を充実し発信することで、従来の成果を保つと考える。

**問** 町長に、本町の公共交通の目指すべき姿をお示し願いたい。

**答** 沢田町長

本町を訪れる観光客の移動手段確保の方向性は定まっていない。観光業者の意見を聞き方向を示すべきだが、今回の会議で議論できなかった事は反省をしている。公共交通は安心して暮らせる生活環境を維持するため、通勤、通学、高齢者等の生活交通を確保し観光客にも利便性が良く持続可能な運営を住民と共に目指して行きたい。

**問** この計画では、観光振興への対応は後回しとなる。商工観光課はどう捉えているのか。

# 離島の漏水について

## (水道事業)



榎本芳三議員

### 問

毎月の検針により平成20年2月から一時間当たり五トンの漏水が確認されたが、少量との判断で経過を見過ごした。そして平成21年8月25日の漏水調査時点では、一時間当たり一〇トンの漏水が確認されたが、漏水箇所の師崎水道が水

深四八メートルと深いため修理が不可能とあきらめられた。修理方法の検討も手遅れ状態で、議会に報告するまで町は放置してあった。その後、漏水は日ごとに増え、一時間当たり三七トンまで増加し、一日当たりでは八〇〇トンもの水が海に流失したにもかかわらず、町当局は早急な対策をとらなかった。これは町長の怠慢ではないかと思うが、町長は漏水事故をどうとらえているか。

石黒建設経済部長  
ダイバーによる調査を行い、三〇メートルの水深までの区間では漏水は発見されなかった。水深三〇メートル以上では、ダイバーによる調査は不可能であるとのことから、師崎よりエアールを送り、気泡の出た場所での漏水箇所を特定できた。漏水箇所は水深四八メートルと深く、海底管を布設した業者からはダイバーでの修理は不可能であるとの回答があったため、他の工事方法や工事費用の検討とともに、補助制度の採択について、県などと協議を進めてきた。まずは漏水を止めることが最優先であることから他の業者を捜したところ、四八メートルの水深でも修理可能な業者が見つかり、急遽、本年2月に応急処理を実施し、漏水を止めることができた。今回の事故を教訓として、本年4月に危機管理対策マニュアルを作成した。今後においては、常に危機管理意識を持ち安全で安定した給水に努めていく。

### 答

石黒建設経済部長  
ダイバーによる調査を行い、三〇メートルの水深までの区間では漏水は発見されなかった。水深三〇メートル以上では、ダイバーによる調査は不可能であるとのことから、師崎よりエアールを送り、気泡の出た場所での漏水箇所を特定できた。漏水箇所は水深四八メートルと深く、海底管を布設した業者からはダイバーでの修理は不可能であるとの回答があったため、他の工事方法や工事費用の検討とともに、補助制度の採択について、県などと協議を進めてきた。まずは漏水を止めることが最優先であることから他の業者を捜したところ、四八メートルの水深でも修理可能な業者が見つかり、急遽、本年2月に応急処理を実施し、漏水を止めることができた。今回の事故を教訓として、本年4月に危機管理対策マニュアルを作成した。今後においては、常に危機管理意識を持ち安全で安定した給水に努めていく。

### 答

沢田町長  
水深四八メートルという今までにない深さでの漏水事故だが、関係者の協力により新しい耐

## 県所有地の賃貸料について

### 問

南知多町が県所有地を借りている土地は何箇所あるか。無料で借りているところと、有料のところはそれぞれ何箇所あるか。

### 答

石黒建設経済部長  
平成16年7月より愛知県知事より港湾施設の占用許可を受けており、その際の許可の条件事項として、借入金残高がなくなるまでは占用料金を免除されている。返済が終わる予定をしている平成36年度までは、占用料金は発生しないものと考えている。

### 答

鳥居総務部長  
本町の県有地の借入状況は、建物のある土地の借入件数について無料二件、有料三件、合計五件である。その他に道路の排水管、橋りょう、看板、通路など九七件あり、すべて無料で借入している。

### 問

師崎港駐車場は、県の賃貸料は無料と聞いている。これは前町長が県と話し合い無料になっていると思うが、あと何年で契約が切れるのか。また今後の対策は考

### 答

観光客等が集中した際に、一時的に駐車場が不足するものと考えているので、現在のところ立体駐車場の増築は考えていない。

### 問

両島の発展のためには駐車場増設が必要と思うがどうか。



# 若い人にも、高齢者にも、 住みよい町を



山下節子議員

## 子ども医療費 無料化制度の 拡充を求めて

**問**

愛知県下すべての市町村で、中学校卒業まで入院は無料となっており、二十二の市町村では、中学卒業まで通院も無料となっている。中学生の通院無料化について、どのように進める予定か。また、中学生の入院医療費の償還払いは、一時的にしても保護者の大きな負担になっている。担当課の事務手続きの軽減にもなると考えるがどうか。

**答**

石垣厚生部長  
現在、無料化は考

えていない。今後、近隣市町の動向を踏まえて検討していきたい。

償還払いも年間十人程度で、事務的にも大きな負担となっておらず、継続したいと考えている。

**問** 町の総合計画に記載されている医療費の無料化目標は、どのような意味があるか。

**答**

2020年に通院について、やるかやらないかの最終的な方向性を出していきたいという目標である。

**問**

中学校卒業まで通院、入院の無料化が愛知県内市町村の流れである。子育て支援という意味でも重要である。財政的にも無理な施策ではないと思うがどうか。

**答**

知多五市五町では、来年1月からの実施を含め四市町で通院も無料化が実施される。今後、近隣市町の動向を踏まえ、早く実施できるかどうか検討していきたい。

## 予防接種への 助成促進を

**問**

有効性が認められているにもかかわらず、接種率が伸びていない子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの予防接種への費用助成についての見解はどうか。

**答**

町単独での費用助成は考えていない。しかし、近隣自治体が任意で導入する動きがあれば、地域格差をなくすためにも検討は必要かと考えている。

## 十八歳未満の 国保税の 負担軽減を

**問**

高すぎると悲鳴が上がっている国保税を、一宮市では今年度から十八歳未満を対象に、均等割を三割減免した。南知多町でも、このような減免制度を検討していただきたい。本町の十八歳未満の世帯員の均等割を三割減免した場合、減免額はいくらになるか。

**答**

鳥居総務部長  
7月末現在、二千二百六人である。減免額は、七七〇万二千四五〇円となる。

**問**

一般会計からの支援を拡充して、十八歳未満の均等割部分を減免する措置を講じ、国保税負担を軽減してはどうか。

**答**

十八歳未満の被保険者を対象として、所得に関係なく一律に国保税を減免することは考えていない。

**問**

若い世代に子どもが生まれると同時に国保税がかけられる。生まれたての赤ちゃんに均等割分の税金をかけることをどう考えているか。

**答**

国保の運営自体が、それぞれの共助というところで行われているので、やむを得ないと思う。

## 配食サービスの 改善について



**問**

6月から実施された配食サービスについて、住民から「五百円の負担はえらい」「もう少し安かったら毎日利用したい」という声が聞かれる。弁当代への補助を検討してはどうか。

**答**

石垣厚生部長  
現在では、病院・施設への入所を問わず、食事代の実費を求められる時代である。病院や介護施設入所者、サービスを利用しない高齢者との均衡を欠くことになるので補助は考えていない。

# 表紙の写真

コミュニティバス

出発式

地域公共交通が始動

9月30日に行われた町のコミュニティバス（海つ子バス）の出発式。これまでの知多バス路線のうち、豊浜線（師崎―豊浜―河和）と西海岸線（豊浜―内海）で運行されます。

2台のバスの愛称と車体デザインは、町民の皆さんからの公募によるもの。10月1日からの試験運行を通して、皆さんにより親しんで利用していただける身近な地域の足となることが期待されます。

# 議会日誌

## 《8月》

- 3日 地域公共交通対策特別委員会
- 16日 日間賀島海底管布設替工事視察
- 20日 知多地区農業共済事務組合定例議会
- 24日 定例郡議長会
- 25日 知多広域環境組合議員勉強会
- 30日 議会運営委員会

## 《9月》

- 3日 議会全員協議会
- 8日 9月定例議会(初日)
- 9日 (2日目)
- 13日 建設厚生委員会
- 15日 総務文教委員会
- 22日 9月定例議会(最終日)
- 29日 知多南部消防組合臨時議会

## 《10月》

- 19日 常任委員会合同行政視察
- 20日 議事
- 21日 議会広報特別委員会
- 26日 定例郡議長会



町の  
の  
声  
を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後の「意見・感想」を議会事務局までお寄せ下さい。  
TEL 05-0711(内線301) FAX 05-0664  
E-mail gikai@town.minamichita.lg.jp

この「議会だより」は再生紙を使用しています。

町のホームページ  
<http://www.town.minamichita.lg.jp>

・・・12月定例会・・・お気軽に傍聴に来てください。  
傍聴の受付は、8時30分～ 役場 2階総務課へ

12月7日(火) 9時30分 本会議初日 (開会・一般質問・議案上程)  
12月14日(火) 9時30分 最終日 (委員長報告・採決・閉会)

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、  
12月27日(月) 午前10時 地上デジタル12ch(121) アナログ放送16ch  
28日(火) 午後10時 地上デジタル12ch(122)

# 編集室より

今年の夏は、記録的な猛暑、酷暑となりました。クーラーをつけっぱなしで、電気が高くて困ったという声も。

一方では、コンクリートのアパートの室内が高温になっても、クーラーがなくて冷房を入れられなかった方を含めて、全国で五百人以上の方が熱中症で亡くなりました。特に高齢者の方で、一人住まいの方が多くおられました。

今後も猛暑、酷暑の夏が考えられます。こういったことが繰り返されないためにも、行政のおもいやりのある取り組みが必要だと痛感します。

Y・S